

若草中学校区新小学校開校準備委員会 第5回

1. 日 時：令和7年4月24日（木）18：00～20：00
2. 場 所：佐保地域ふれあい会館
3. 参加者：委員 出席17名 欠席9名 オブザーバー2名
奈良市から6名（教育政策課・教育施設課・建築デザイン課）
4. 内 容

【1】会長挨拶

- ・ 令和7年市議会3月定例会で佐保小学校新校舎建設工事に関する議案が可決され、前に進むことになった。
- ・ すでに新校舎建設工事に関する地域住民に向けた説明会が4月13日、20日に行われた。この開校準備委員会も前に進めていきたい。
- ・ 「子どもの見守り体制」に特に力を入れて取り組んでいきたい。開校後はもちろん、工事期間中の見守りにも力を入れなければいけない。
- ・ 学校が新しくなる。我々地域も、きちんとした体制でやっていかなければいけない。

【2】前回議事内容の確認

- ・ 教育政策課より、前回の議事内容の確認を行った。

【3】現況報告（教育政策課）

- ・ 新校舎建設工事に係る入札や市議会での審議の経緯、3月定例会の結果、4月27日に佐保小学校で説明会を実施する旨の報告を行った。
- ・ 工事に伴うグラウンドの使用制限、通学路の安全確保、両校児童による交流活動の紹介、校名、校章、校歌の決定スケジュールについて説明した。

【4】新校舎建設工事について（建築デザイン課）

- ・ 作業時間、防音・粉塵対策、周辺の交通の安全確保などの遵守事項、アスベストの飛散対策、新校舎の耐震構造、ガラス面の安全対策等の説明をした。

【5】今後の活動諸課題について

- ・ 工事現場の見学の実施、見守り体制の協議を進めていく。
- ・ 校名については令和8年2月、校章については令和8年5月、校歌については令和9年1月までに決定。校名の決め方は公募アンケートを行う。校歌について、歌詞は児童・保護者に向けて募集。作曲については専門家に依頼。
- ・ 学校の広報紙に開校準備委員会で協議した内容載せていただきたい。各地域の広報紙でも開校準備委員会の活動を載せていく。
- ・ 会議の経費についてはそれぞれの連合会の活動費の中で賄う。資料の作成については現行の開校準備委員会と教育委員会の協力体制でやっていければと思う。作曲等の専門家への謝礼や校名・校章・校歌についてのアンケートの調査の郵送費については、市の予算でお願いしたい。広報費については、基本的には学校の広報紙や各地域の広報紙で掲載していく。

【6】質疑応答・意見など

- ・ 工事によって一時的に大きな音が発生することは、近隣住民には知らせるようにした方がよいのでは。そのことを資料に書いておいた方がよいのでは。（委員）

- ・ 工事の掲示は今のものだけか。着工時に正式な掲示板はないといけないのではないのか。(委員)
- ・ スクールバス運行経路は想定ということだが、確定であるとの思い違いを防ぐ意味でも、もう少し「イメージ」であることを強調してはどうか。(会長)
- ・ 通学路は学校が決めるのか。(委員)
 - 学校長が決めて、教育委員会に報告する。赤色の線についてはこれまでの両校の話し合いで一旦決まったものをここに表している。そのほかの色の路線は、これから協議していく。(鼓阪小校長)
- ・ 児童の送迎について、鼓阪小学校の保護者とは話はできるのか。(委員)
 - 開校準備委員会の場に来てくださるのが一番だと思っている。それが叶わなければ、学年ごとにお話することも検討している。例えば参観日に学年ごとに行って、皆さんに意見を聞くなど考えている。(教育政策課)
- ・ 鼓阪小の保護者の間で統合再編に関する合意形成が煮詰まっていない気がする。その中でこのスケジュール感で果たして校名の決定ができるのか。(委員)
 - 新しい学校の校名は、令和8年6月議会に学校設置条例の改正案を提出しなければいけない。それを考えて、令和8年2月には決める必要がある。いま鼓阪小の保護者にも連絡をして説明会の調整をしているが、校名のことも説明しながら進めていくことになる。(教育政策課)
- ・ 必ずしも鼓阪の皆さんに正しい情報が伝わっていない。バス通学についても、PTA会長と話しをしたが、全く他の保護者には伝わってなかった。学年ごとでという話が先ほど出たが、そういう形であれば、もう少し状況が変わるかなと思う。(委員)
- ・ 校名を決めるプロセスについて、過去はどのように決めたのか。(副会長)
 - 地域の方々や子どもたち全員にアンケートを配付し、理由とともに様々な校名案を出してもらった。開校準備委員会で校名を決める部会を作っていただき、全体の中で理由も含めて3つ最終候補を決めていただいた(「ならやま」「丘の上」「桜美」)。そして、3つの中でどの校名にしたいかを、両校の子どもたちにアンケートをとり、その中で一番多かった「ならやま」に決定した。(教育政策課)
- ・ 鼓阪小学校が佐保小学校に併合されるのではない。新しい小学校なんだから、新しい校名を考えるのは当然のことだと思う。佐保小学校の名前を残したいという人も多くいるかもしれないが、反対に鼓阪の方たちは吸収されたという気持ちになるかもしれない。これまで培われた歴史や記憶がなくなるわけではないし、ここは新しい学校になるのであれば新しい校名を決めるべきだと自分思う。(委員)
- ・ 選考委員会のメンバーはどうするのか、選考はどのようにするのかなど、いろいろ声は出てくと思うが、開校準備委員会としては、選考委員会の立ち上げなどしっかり考えて検討していく。いろんな角度から声が出てくと思うが、我々は決めた一つの方向に向かってやっていく。(会長)

【7】終わりの挨拶

- ・ 次回開催予定は、6月の中旬か下旬ぐらいで、また日を決めてお知らせする。皆様、ご協力をお願いしたい。(会長)

次回開催未定